

厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）
分担研究報告書

C型肝炎撲滅にむけた地域連携と相談支援の取り組み

研究分担者 吉澤 要 国立病院機構信州上田医療センター 院長

研究要旨 近年、C型肝炎治療は急速な進歩を遂げ、直接作用型抗ウイルス薬（DAA）内服治療で良好な成績を収めている。当院では、C型肝炎撲滅にむけ最新治療の均霑化を目指し、肝疾患地域連携診療ネットワークを構築し、地域連携を推進してきた。また、地域医療連携室を中心に肝炎相談員を養成し、長崎医療センターの肝疾患患者支援システムを活用し肝炎相談を行ってきた。この取り組みにより、かかりつけ医からの紹介患者が年々増加し、特にここ1年は急激な増加となり、また、相談により疑問・不安を解消し、最新治療に結びつき、当初の目的である肝炎治療の均霑化が確実に進んでいる。

A．研究背景・目的

平成20年から、ウイルス肝炎治療の均霑化を目指した厚生労働省肝炎総合対策「肝炎治療7か年計画」が実施されている。当院は平成22年から、肝疾患地域連携診療ネットワークを構築し、肝疾患専門医療機関、ネットワーク登録医を増やし肝炎パスを使用し病診連携を推進してきた。また、地域医師会講演会、市民講座、メディアを通じた積極的な広報活動も行っている。さらに地域医療連携室を中心に肝炎相談員を養成し、長崎医療センターを中心とした患者相談支援システムを活用し相談を行ってきた。近年、C型肝炎治療は急速な進歩を遂げ、直接作用型抗ウイルス薬（DAA）内服で良好な成績を収めている。当院での地域連携と相談支援の成果の1つとしてのC型肝炎最新治療（肝炎治療の均霑化）を検証する。

B．研究方法

C型肝炎治療として、

Peg-IFN+RBV 2010-15 1b 5例、2a/b 20例

Peg-IFN+RBV+TLV/SMV 2012-15 16例

ダクラタスビル+アスナプレビル(DA) 2014-15 34例

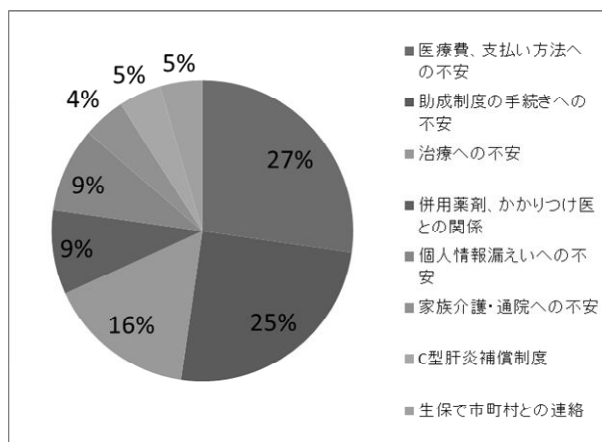
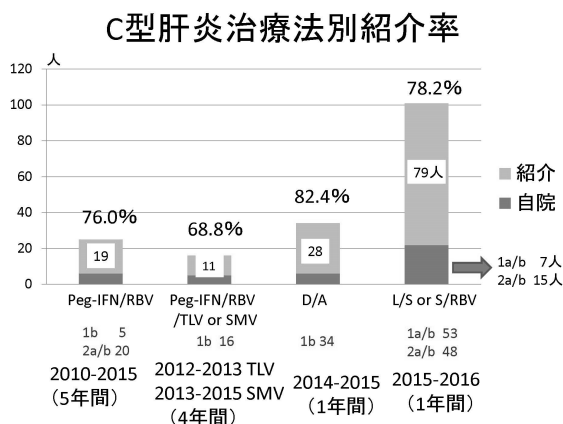
ソフォスブビル+レジパスビル/リバピリン (SL/SR) 2015-16 103例

上記治療患者における病診連携を介した紹介率、紹介患者の実態を解析した。

また、最新治療を考慮している全患者（136名）は、相談員と面談し、相談希望者にはそれに応じその相談内容を検討した。

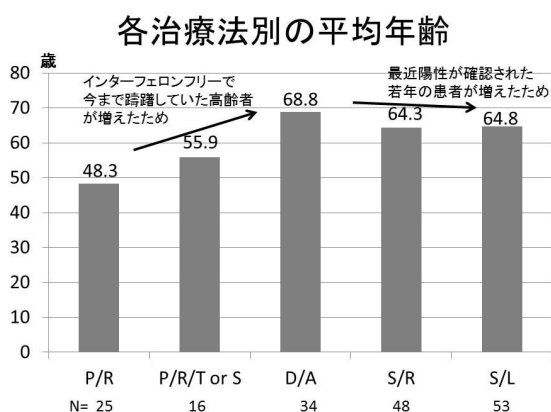
C．研究結果

Peg-IFN+RBVは5年間の治療25人中19人76.0%が連携を介した紹介患者であった。Peg-IFN+RBV+DAAは4年間で16人治療し、11人68.8%が紹介であり、DAA 2剤DA治療では2014-15年1年間に34人治療し、そのうち28人82.4%が連携からの紹介であった。LS/SRでは、1年間に103人が治療を行い、79人78.2%が紹介であった。



相談内容（41人重複回答有）

各治療別の平均年齢はPeg-IFN+RBV 48.3歳、Peg-IFN+RBV+DAA 55.9歳であるのに対してDAでは68.8歳と高齢であった。これは、インターフェロン治療を敬遠していた高齢者が、インターフェロンフリー治療を希望し、また、それをかかりつけ医が理解し高齢者の紹介が増えたことによる。しかし、SRでは64.3歳、SLでは64.8歳と減少傾向であった。これは、最近になって感染が判明した若年の患者の紹介が増えたことが一因である。なお、上記すべての治療群において、その治療成績は非常に良好であった。



肝炎相談に関しては、C型肝炎治療については、41名が相談し、27%が医療費、あるいはその支払に対する不安で、25%が助成制度の手続きの不安、そして、治療に対する疑問や不安、併用薬やかかりつけ医との関係などが多くを占めた。

D. 考察

肝疾患地域連携を開始して6年、治療の進歩がすばやくかかりつけ医にも理解され、紹介患者が増加している。さらにDAA経口2剤の登場は、明らかに今まで紹介のなかった高齢患者を掘り起こし、あるいは新規の感染判明者の紹介につながり、それが最新治療に結びついている。相談支援システムの確立で相談員が患者に対応し、すべての患者を治療に結びつけることができた。さらに、今後も相談員の育成やシステムの活用が必要である。

E. 結論

かかりつけ医との肝炎パスを介した連携や地域医師会講演会がかかりつけ医からの紹介を増やし、市民講座、メディアを通じた積極的な広報活動や地域医療連携室を中心とした患者相談などが患者の意識を高め、C型肝炎最新治療の均霑化に貢献している。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Yoshizawa K, Joshita S, Matsumoto A, Umemura T, Tanaka E, Morita S, Maejima T, Ota M. Incidence and prevalence of autoimmune hepatitis in the Ueda area, Japan. *Hepatology Res.* 2016 46: 878-3
- 2) Umemura T, Joshita S, Yamazaki T,

Komatsu M, Katsuyama Y, Yoshizawa K, Tanaka E, Ota M. Genetic Association of PTPN22 Polymorphisms with Autoimmune Hepatitis and Primary Biliary Cholangitis in Japan. *Sci Rep*. 2016 Jul 11;6:29770.

3) Takahashi A, Arinaga-Hino T, Ohira H, Torimura T, Zeniya M, Abe M, Yoshizawa K, Takaki A, Suzuki Y, Kang JH, Nakamoto N, Fujisawa T, Yonemoto K, Tanaka A, Takikawa H; Autoimmune Hepatitis Study Group-Subgroup of the Intractable Hepato-Biliary Disease Study Group in Japan. Autoimmune hepatitis in Japan: trends in a nationwide survey. *J Gastroenterol*. 2016 Oct 8. [Epub ahead of print]

4) Kawashima M, Hitomi Y, Aiba Y, Nishida N, Kojima K, Kawai Y, Nakamura H, Tanaka A, Zeniya M, Hashimoto E, Ohira H, Yamamoto K, Abe M, Nakao K, Yamagiwa S, Kaneko S, Honda M, Umemura T, Ichida T, Seike M, Sakisaka S, Harada M, Yokosuka O, Ueno Y, Senju M, Kanda T, Shibata H, Himoto T, Murata K, Miyake Y, Ebinuma H, Taniai M, Joshita S, Nikami T, Ota H, Kouno H, Kouno H, Nakamuta M, Fukushima N, Kohjima M, Komatsu T, Komeda T, Ohara Y, Muro T, Yamashita T, Yoshizawa K, Nakamura Y, Shimada M, Hirashima N, Sugi K, Ario K, Takesaki E, Naganuma A, Mano H, Yamashita H, Matsushita K, Yamauchi K, Makita F, Nishimura H, Furuta K, Takahashi N, Kikuchi M, Masaki N, Tanaka T, Tamura S, Mori A, Yagi S, Shirabe K, Komori A, Migita K, Ito M, Nagaoka S, Abiru S, Yatsushashi H, Yasunami M, Shimoda S, Harada K, Egawa H, Maehara Y, Uemoto S, Kokudo N, Takikawa H, Ishibashi H, Chayama K,

Mizokami M, Nagasaki M, Tokunaga K, Nakamura M. Genome-wide association studies identify PRKCB as a novel genetic susceptibility locus for primary biliary cholangitis in the Japanese population. *Hum Mol Genet*. 2017 Jan 5. pii: ddw406. doi: 10.1093/hmg/ddw406. [Epub ahead of print]

5) Higuchi T, Oka S, Furukawa H, Nakamura M, Komori A, Abiru S, Nagaoka S, Hashimoto S, Naganuma A, Naeshiro N, Yoshizawa K, Shimada M, Nishimura H, Tomizawa M, Kikuchi M, Makita F, Yamashita H, Ario K, Yatsushashi H, Tohma S, Kawasaki A, Ohira H, Tsuchiya N, Migita K. Association of a single nucleotide polymorphism upstream of ICOS with Japanese autoimmune hepatitis type 1. *J Hum Genet*. 2016 Dec 15. doi: 10.1038/jhg.2016.155. [Epub ahead of print]

6) Ito A, Yoshizawa K, Fujimori K, Morita S, Shigeno T, Maejima T. Autoimmune Hepatitis Associated with Immune Thrombocytopenic Purpura. *Intern Med*. 2017;56 (2):143-147.

2. 学会発表

1) 吉澤 要、松本晶博、田中榮司 . N県におけるC型肝炎撲滅に向けた取り組み . 第41回日本肝臓学会東部会 . 2016.12.8

G . 知的財産権の出願・登録状況

なし。